



日本プライマリ・ケア連合学会

近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学

事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A
あゆみコーポレーション内
Tel. 06-6441-4918 Fax. 06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No. 7 (2014.6)

[勉強会報告] 第6回 近畿家庭医療学後期研修医ポータルフォーリオ発表会 (3月8日)

来住 知美 (洛和会音羽病院 大津ファミリークリニック)

ポータルフォーリオ (以下 PF) は専門医取得に必須ですが、その作成・支援過程はプログラムにより実に多様です。そこで2008年度、PFへのより深い理解とプログラム間の交流を目的に本発表会が始まりました。第6回目となる今回は7名の後期研修医らが運営に関わり、14名が「こんなことができる、できた」と示すショーケースPFを発表しました。

当日は晴天に恵まれ、全国各地より70余名が集まりました。座長の宮川卓也医師 (京都家庭医療学センター)、西村正大



医師 (市立奈良病院) らのもと活発な議論が行われ、特に優れた発表であった『甘くほろ苦いスナックパイ』 (稲岡雄太医師、兵庫民医連家庭医療後期研修プログラム 阪神コース)、『アドヒアランス不良な患者から家庭医としてのアプローチを学ぶ』 (紙谷史夏医師、「総合医」のためのへき地医療研修プログラム-奈良県-) の2題にベストパフォーマンス賞が贈られました。最後は一瀬直日医師 (赤穂市民病院) からゲスト講評を頂き、閉会となりました。

今回は初参加のプログラム・参加者が多く、フィードバックにも工夫を加えました。一方で領域や文献の選び方が甘いとの指摘があり、PFの質向上という新たな課題が見つかりました。2014年度は草野超男医師 (京都家庭医療学センター)、中村郁恵医師 (弓削メディカルクリニック) を中心に企画します。皆様ふるってご参加ください。

<謝辞>開催にあたりご協力を頂いた近畿ブロック支部、実行委員顧問の高木幸夫医師 (京都家庭医療学センター)、そしてご発表・ご参加くださった全ての方々に、実行委員一同この場を借りて感謝いたします。

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県) に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ 支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・ 副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・ 幹事 : 朝倉健太郎、足立光平、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、空地頭一、高木幸夫、武田以知郎、羽野卓三、福原俊一、松村理司、水野融、三ツ浪健一
- ・ 監事 : 大島久明、澤木政光



【活動報告】近畿ブロック家庭医専門医後期研修プログラム責任者会議

高木 幸夫 (同会議近畿ブロック代表/京都家庭医療学センター)

プログラム責任者会議は、旧家庭医療学会の後期研修プログラムにおいて各プログラム間の経験交流やブロックでの取り組みを活発化させる目的で発足しました。近畿ブロックでは、他のブロックに先駆けて、後期研修医のポートフォリオ発表会を開催しました。

ポートフォリオとは、紙ばさみ、書類かばん、作品集などの意味を持つ言葉で、研修中に学んだことの総称として用いられており、特に自らの学びになった事例を抽出して発表してもらおうというものです。狙いとして、各後期研修医の到達度評価だけではなく、指導医の指導内容やひいてはプログラムの質も反映し、学び合いの場になるのではという期待がありました。第一回のポートフォリオ発表会は2009年3月7日に京都で開催され、8名の後期研修医が発表し、参加は学生も含めて44名でした。その後、毎年を重ね、2014年は過去最大の規模となっています。今後は、より多くの後期研修医の参加と指導医の関わり、PC学会で活躍されている多くの方の参加が課題となっています。

他の取り組みとして、今年度は「サイトビジット」に取り組む予定です。プログラムの第三者評価を相互に行うことにより、プログラムの充実を図るとともに研修医に元気になってもらうことが目的です。日程の調整に苦慮していますが、なんとかルーチンワークとして定着させたいと思っています。

これからは若い力をいかに育てていくかが鍵です。多くの力を結集して盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくご理解、ご協力をお願い申し上げます。



第6回ポートフォリオ発表会
(2014. 3. 8)

【会議報告】ブロック支部長会議、特別企画「支部活動の活性化と地域・社会への貢献」(5月11日)

梶山 泰男 (大阪勉強会 代表世話人)

連合学会が発足して後も、旧プライマリ・ケア学会になり学会地方組織の充実の必要性に着目され、支部活動をテーマとした企画が開催されてきた。前沢理事長らは2011年度に8つのブロック支部を整備し、ここを通じて都府県における支部、研究会活動への補助金配布を始められた。

新役員もこれを継承し、今年の岡山学会の社員総会では、丸山理事長はこれまでの学術、教育(ことに認定事業)重視のほかに、これとは無関係に地域で診療、診療体制作りにも働いている医師たち(会員外も含めて)にも視野を広げたいと述べられた。当面、日医執行部との連携にとりかかるとのこと。

会場から、たとえば認知症対策の地域医療介護体制作りにしても、元来地域活動のなされていたところでない、上からの提案、指導は定着しないことは経験済みである、地域活動を進めるためにも学会地方組織の充実にも力を注ぐよう指摘があった。これに応じて補助金増額とその条件なども約束された。予防や介護に重点が移ってきた近年の医療では、こうした地域活動による多職種連携の組織づくりなしに国民の健康、生活は守れず、これこそがプライマリ・ケアの理念として連合学会の目標でもありつづけるだろう。

ブロック支部長会議では、補助金増額的前提として、活動状況が見える会計報告形式に改める予定とのこと。またブロックおよび今後都府県支部を作るために名簿の配布が必要だが、受け皿のための責任者登録と、名簿の項目等が検討された。特別企画では問題提起の後、ブロック支部毎に討論が行われ、今後の活動方針が検討された。近畿ブロック支部においては、近く開かれるブロック支部代議員会で決定される予定。



特別企画でのブロック支部別グループワーク
(近畿ブロック支部)

【ご挨拶】 新理事就任

福原 俊一 (京都大学/福島県立医科大学)

初めまして。当学会では、これまで主に研究支援の面でお手伝いしてきました。近畿ブロックの活動の方を怠っており申し訳ありません。具体的には、研究支援委員会を通じて以下の活動をしてきました；

- 1 「臨床研究デザイン道場」を学会開催時に、さらにここ数年はそれ以外にも開催しました。直近では福島市で開催し、多くの熱心な先生方にご参加をいただきました。
- 2 学会抄録を投稿する前に、web 上でアップグレードを支援する aBus。
- 3 3年前から研究助成制度を開始し、研究指導者（メンター）による支援も付加しました。現在メンターの効果を評価すべくランダム化比較試験を続行中です。

いろいろ変わったことをする奴だなあとお思いになられているかもしれません。その通り、やや変わった奴ですが（笑）、かなり単純で、「日本の PC 医学の学術面での発展」を遠いゴールと設定し、ささやかなお手伝いをしてきたというのが、率直なところです。来年 2015 年には医学会総会が a11 関西で開催されます。その直後に World Health Summit が開催されます。当学会のセッションを設ける予定です。近畿ブロックの存在もぜひアピールしていただきたいと考えております。

近畿ブロックの先生方と活動をご一緒する中で、ご指導をいただけますれば幸甚です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



【会議報告】 近畿ブロック支部幹事会 (5月25日)

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

6月22日に開催予定のブロック支部代議員会に向けて、新役員体制、平成25年度事業報告及び決算、平成26年度事業計画及び予算、地域支部及びグループ活動に対する補助規定の見直し、今後の近畿地方会開催、全府県での支部立ち上げについて、等の議論を行い、代議員会に提出する原案を作成しました。

代議員会は、本ニュースレターの原稿提出締め切り後に開催されるため、その模様及び決定事項については、次号で報告させていただきます。



一般演題募集中!

第28回近畿地方会

<http://pckinki28.umin.jp>

- ・会期：2014年11月30日(日)
- ・会場：千里阪急ホテル
(大阪府豊中市新千里東町 2-1)
- ・主催：豊中市医師会
- ・大会長：上辻 浩夫
(豊中市医師会 会長)



[ご案内] 地域支部・グループ研究活動に対する補助の公募 (2013. 6. 30 一部改定部分を下線で表示)

近畿ブロック支部では、府県単位での地域支部活動や、さまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。申請用紙(事務局にご請求下さい)は簡便に作っておりますので、お気軽にご応募下さい。今後も適宜改訂していきますので、より良いしくみにするためのご意見などもお願いいたします。

(1) 補助の要件

- 1) 主催者が日本プライマリ・ケア連合学会(以下、学会)の会員であること
- 2) 近畿ブロック支部の活動の趣旨に沿っていること。ただし、単なる懇親会は補助の対象外とする。

<参考> 日本プライマリ・ケア連合学会 近畿ブロック支部会則

第3条 本会は、近畿ブロックにおけるプライマリ・ケアに関する学術の進歩、知識の普及ならびに人材の育成を図り、プライマリ・ケアの充実および向上に寄与することを目的とする。また、人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行うことを目的とする。

- 3) 学会本部や製薬会社など、他の主体からの補助や協賛と重複していないこと。(大学や病院、医師会等の関係団体による支援は可)
- 4) 補助金の振り込みを受けるための銀行口座を有していること(個人名義で可)
- 5) 学会近畿ブロック支部から補助を受けていることについて、案内文書に記載するか当日アナウンスを行うこと。可能であれば、学会への入会勧奨をすることが望ましい。

(2) 申請の手順

- 1) 申請にあたっては、所定の書式に準じた申請書を提出すること。開催前の申請で、その時点で記載及び添付不可能な項目がある場合は、会合終了後に遅滞なく当該事項について提出すること。尚、補助金の用途を明記し、対応する領収書のコピーを添付すること。
- 2) 申請書2枚のうちの1枚は、学会本部へ「専門医・認定医研修講座」又は「認定薬剤師研修講座」の企画書を提出している場合(すなわち専門医・認定医、認定薬剤師の単位を申請している場合)、そのコピーをもって代えることができる。
- 3) 報告の形式は、近畿ブロック支部ニュースレターへの原稿提出とする。又、交流推進のため、地方会での一般演題発表も歓迎する。

(3) 補助額

- 1) 基本活動補助費(同一主催者には年1回のみ)として、学会会員10名未満の会の場合1万円、学会会員10名以上の場合3万円を補助する。
- 2) 会合1回ごとのオプションとして、都道府県など一定地域(あるいは職種等の一定範囲)の全会員に案内を送付する場合、ブロック支部事務局より名簿を提供し、当該府県(職種)分の案内人数分の郵送料(80円/人)を補助する。尚、名簿の提供は、郵送物発送のための必要最低限の形式とし、申請者は「当該勉強会の案内以外の目的で名簿情報を利用しない」旨の文言にサインするものとする。

支部からのご連絡

ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております! また、会員の方の関係した講演会等の案内欄を設けております。掲載を希望される方は、1)日時、2)会場、3)講演会名、4)講演会の対象者、5)演題と演者、肩書き(主要なもの1つ)、6)主催者(及び共催者)、7)連絡・問い合わせ先、8)HP(あれば)、9)事前申込の可否、10)参加費用、11)取得可能単位を事務局までメール又はFAXでご連絡下さい。尚、原稿締切日とニュースレター発行日は、2月20日〆切→3月下旬発行、5月20日〆切→6月下旬発行、8月20日〆切→9月下旬発行、11月20日〆切→12月下旬発行となっております。学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ情報提供をよろしくお願いいたします。